

農作業コツのコツ

【第4号】

令和7年4月 26 日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

田植え時の重要3ポイント

① 植付深さ 3 cm

② 品種に応じた植付株数

③ 基肥の適正施用

田植作業時に気温の高い日が続きます。熱中症に気を付けて作業しましょう！

荒れた天気が続いており、日射があると育苗ハウス内の温度は急上昇します。ハウス内が暑くなりすぎないように**換気を徹底**しましょう。

田植えは、植付深さ3cm(苗の第一葉が田面の上に見える程度)を徹底しましょう。

田植え後は、**きめ細やかな水管理**を徹底し、初期分げつの発生を促しましょう。

また、適切な除草剤使用により、除草効果を高めましょう。

水稻・移植

※田植えの留意点はコツのコツ第3号をご確認ください(特に植付深さに注意)。

1 田植え後の水管理

(1)田植え時～活着 (田植後 3～5 日程度)

苗が水没しない程度の**やや深水** (5 cm 程度) で植傷みを軽減しましょう。密苗は浮苗防止のため、**浅水** (2～3 cm) としましょう。

(2)活着後

コツのコツ

浅水管理 (2～3 cm) で田水温を高めて、分げつの発生を促しましょう。

※ただし、強風や低温時には深水にし、天候回復後はすみやかに浅水管理にしましょう。

(3)田んぼがわいたり、藻が発生した場合

晴れた日に1～2日程度、落水して**軽い田干し**を行い、水を入れ替えましょう。

※R6年は収穫後に発生した「ひこばえ」が大きくなったほ場が多く、秋起こしをしていないほ場では特に注意してください。

2 除草剤の使用

- ・使用基準、使用上の注意を守り、遅れずに除草剤を散布しましょう。
- ・ジャンボ剤や豆つぶ剤の散布時は水深8 cm 程度を確保しましょう。
- ・除草効果を高めるため、散布後5日間は湛水状態(水深5 cm程度)を保ち、田面を露出させないように、水が足りなくなったらゆっくりと差し水をしましょう。
- ・成分が水田外へ流出しないよう、散布後7日間はかけ流しや落水はやめましょう。

○田植え後の水管理・除草剤散布の例

①田植後に体系是正剤 1 回																																
除草剤																																
水位のイメージ																																
田植後日数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水管理	やや深水					田干し 水入替			やや深水					浅水					田干し 水入替		浅水・自然落											

②田植同時の初期剤＋体系是正剤 もしくは 田植同時の体系是正剤 1 回																																	
除草剤	初期剤もしくは は体系是正剤							体系是正剤																									
	5 c m程度							5 c m程度																									
水位の イメージ	3 c m程度							3 c m程度																									
田植後日数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
水管理	やや深水							浅水		田干し 水入替		やや深水							浅水			田干し 水入替		浅水・自然落水									
田植同時以降、体系是正剤を使用しない場合は浅水管理（3 c m）																																	

※詳しくは「営農とくらし」のP36～37、60～61、64～65を参照してください。

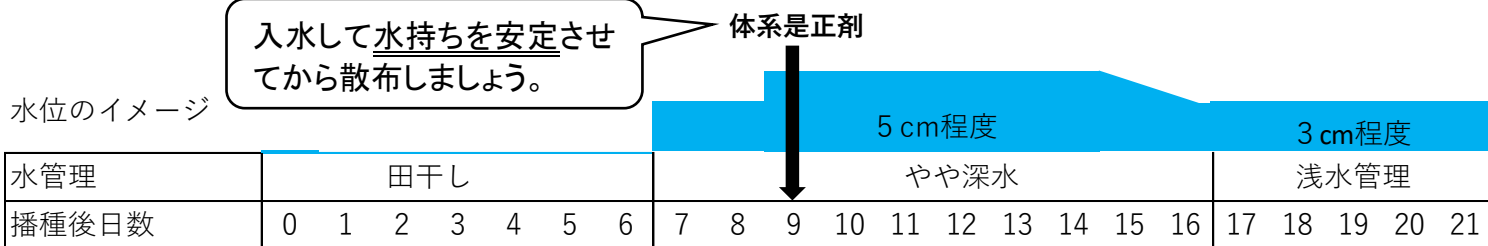
水稻・直播

1 播種後の水管理・除草剤の使用

(1)カルパーコーティング

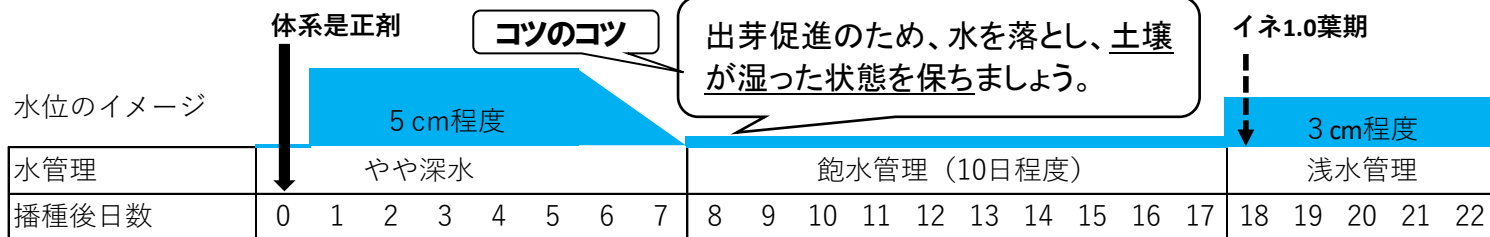
コツのコツ

- ・播種後5～7日程度は**田干し**を行い、種子に酸素を提供しましょう。
- ・田干し後の播種後7日～10日頃（イネ1.0葉期）に湛水状態で除草剤を散布しましょう。
- ・その後は**浅水管理**（2～3cm程度）で田水温を高め、分げつの発生を促しましょう。



(2)鉄コーティング

- ・播種同時または播種直後に必ず除草剤を散布し、播種後5～7日間は深水（水深5cm程度）による湛水管理を行い、8日目から飽水管理に切り替えましょう。
- ・イネ1.0葉期まで**飽水管理**を行い、根をしっかりと張らせ、転び苗の発生を防ぎましょう。
- ・イネ1.0葉期以降は**浅水管理**としましょう。



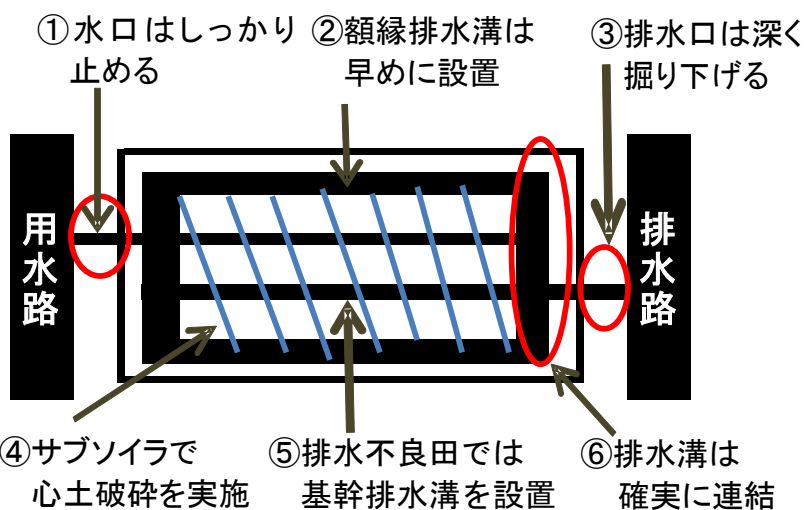
(3)残草に対する除草剤散布

- ・残草がある場合は、雑草の種類とイネの葉齢を確認し、除草剤を散布しましょう。除草剤については「営農とくらし」のP62～63、P65を参照してください。

大豆

1 播種前の排水対策

- ・**額縁排水溝**を早めに設置して、播種前の土壌を乾かしておきましょう。
- ・透水性の悪いほ場は、ほ場内に**基幹排水溝**を設置したり、サブソイラによる**心土破碎**を施工し、排水性の向上に努めましょう。



2 土づくり

- ・耕起前に必ず苦土石灰を散布し、pH6.0～6.5に酸度矯正しましょう。
- ・地力向上のため、醗酵けいふん等の有機物を積極的に施用しましょう。

表 土づくり資材の施用の目安

	10a当たりの施用量
苦土石灰	100～200kg
醗酵けいふん	100～150kg
牛ふん堆肥	2m ³ （1t）

田植機の爪などの動作部の点検は、必ずエンジンを停止させた後、手袋を着用して行いましょう。